

令和4年度 高岡南高等学校 第1学年 評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の国語	専門的な学問や社会生活に必要とされる国語の知識や技能を身につけ、使っている。	他者との関わりの中で論理的に考える力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深め、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫している。	言葉が持つ価値への認識を深めるための努力を継続し、言葉を通じて積極的に他者に関わることで自分の思いや考えを広げ、深め、表現している。
言語文化	言葉の働きや我が国の言語文化に特徴的な表現の技法やその効果について理解し、古典文学の読解に必要な事項を身につけている。	文章の種類を踏まえ、そこに現れているもの見方や感じ方、考え方を深め、自分の感じたことや思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫している。	我が国の伝統的な文章形態の持つ価値への認識を深め、鑑賞を楽しみ、その担い手としての自覚を持ち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとしている。
地理総合	地図や地理情報システムを用いて、地理に関わる事象について空間的・相互的に理解し、知識を身につけている。	地理に関わる事象について、空間的・相互的なつながりをもとに多角的・多面的に考察したり効果的に説明したりすることができる。	我が国及び社会の形成者としてより良い社会の実現を目指し、世界の多様性や地域的な課題に着目して、主体的に解決しようとしている。
歴史総合	近現代の世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えて歴史を理解しているとともに、諸資料から適切な情報を読み取りまとめることができる。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察して課題を把握し解決を構想することができる。また、それらを効果的に説明したり、議論し合うことができる。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
数学Ⅰ	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりできる。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
数学Ⅱ	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりできる。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
数学A	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基いて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察できる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
物理基礎	日常生活と関連付けながら、物体の運動と様々なエネルギーについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、これまでに学んだことを振り返ったり、他者の考えを参考にしたりしながら、科学的に探究しようとしている。
生物基礎	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解することができる。科学的に探究するために必要な観察・実験を行うための、基本的な技能を身につけている。生物や生物現象が多様であることを踏まえつつ、それらに共通する基本的な概念や原理・法則を理解している。	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・科学的な視点で捉えることができる。自然の事物・現象を、比較したり、関係づけたりするなど科学的に探究する方法を用いて考えることができる。報告書を作成したり発表したりすることを通して、科学的に探究する力が身につけている。	生物や生物現象に、自ら課題を設定しようとしている。生命現象を、科学的に探究しようとする態度がみられる。生命を尊重し、自然現象の保全に寄与しようとする態度がみられる。
体育	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知識及び運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫し、それらを表現している。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
保健	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身につけている。	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して、総合的に考え、判断し、それらを表現している。	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組もうとしている。
音楽Ⅰ	音楽の構造や文化的・歴史的背景と、曲想との関わり及び音楽の多様性について、音楽活動を通じて理解を深めている。創意工夫などを活かした音楽表現をするための技能を身につけている。	音楽的な知識や感性を働かせて、楽曲を解釈したり演奏を評価しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音楽活動の喜びを味わい、多様な場での音楽と豊かに関わりながら、学習活動に主体的・協働的に取り組んでいる。

美術Ⅰ	造形的な見方・考え方を働かせて、意図に応じて造形要素や材料・用具の特性を生かしたり、表現方法を工夫した表現をしたりするなどの創造的な技能を身につけている。	美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じとり、理解を深めようとしている。美術における時代・民族・風土・宗教などによる表現の相違や共通性などを考察し、美術文化の社会的役割や将来へのつながりにも思考を幅広く捉えようとしている。創造的な観点から主題を生成し構想を練っている。	美術の創造的な諸活動を通して、美術体験を豊にし、主体的に個性豊かな表現及び鑑賞の能力を身に付けようとしている。
書道Ⅰ	書の表現方法や形式、多様性を書の創造的活動を通して幅広く理解し、書の伝統に基づいて効果的な技術を身に付けている。	書の良さや美しさを味わうとともに、意図に基づいた構想や表現の効果を理解し、書の伝統と文化の意味を考えて書の活動に生かしている。	書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、主体的に書の幅広い活動に取り組もうとしている。
英語コミュニケーションⅠ	身近な話題の英文を、写真やイラストを参考にしながらレッスン全体の大意を理解することができる。	身近な話題の英文について、基礎的な語句を用いて表現することができる。	英文に関する知識、その背景にある文化や思想を理解しつつ、自律的かつ主体的に外国語を用いて学ぼうとしている。
論理・表現Ⅰ	基礎的な英語表現を習得し、活用することができる。	身近なトピックについて、読んだり聞いたりして、自分の考えを表現することができる。	英文に関する知識、その背景にある文化や思想を理解しつつ、自律的かつ主体的に外国語を用いて学ぼうとしている。
情報Ⅰ	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付けるとともに、現代社会における情報の意義や役割を理解している。	情報活用の方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。情報の収集・選択・処理を適切に行うとともに、情報を目的に応じて表現できる。	情報や情報社会において、身のまわりの問題を解決するために進んで情報及び情報技術を活用し、情報社会に主体的に対応しようとしている。
総合的な探究の時間	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。
特別活動	ホーム・ルームや部活動、学校行事など、多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要なことを理解し、また行動の仕方を身に付けている。	集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、それらを解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりすることができる。	自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度が身につけている。